



(左から) 寺田礼子さん、木村佑季子さん、福永沙樹さん、荻野深雪さん、舎利倉美郷さん

## 私たち、 図書館司書です！

利用者が本を探すのを手伝ったり、図書館に置く本の選定や、おはなし会の企画など、図書館をより良くするためのアイデアを日々考え、図書館の行うさまざまな事業を支えるお仕事をしています。今回紹介した「ちょちょちおはなし会」も、司書の皆さんが本を読んだり、わらべうたを歌ったりして参加者と交流しています。

# 読み聞かせは子どもとの幸せな時間。 絵本選びはぜひ、図書館で。



おはなし会ポイントカード<sup>㊤</sup>と読書手帳<sup>㊦</sup>。読書手帳は1冊に、読んだ本100冊まで記入できる。ポイントカードは、全部あつめると素敵なお知らせがもらえるかも…♪

**絵本**のある子育てについて、図書館司書の木村佑季子さんに話を伺いました。木村さん自身も幼少の頃、絵本の読み聞かせをしてもらっていたそうです。家族の優しい声に安心でき、良く眠ることができたことを覚えている、と話してくれました。

木村さんは「絵本の読み聞かせはスキんシップ。子どもは愛情を感じることができ、心の触れ合うひと時を過ごすことができます」と話します。また、「このスキんシップを通じて、「子どもの小さな変化や成長を感じることができすよ」とも。

さらに「赤ちゃんのうちから本に触れ合うことで、本がその子にとって身近なものになります。乳幼児期からの読書経験の積み重ねで、生涯にわたり読書を通じて言葉を学び、知性や感

## 読書 1,000 冊達成したよ！

東小学校に通う山本彩矢さん（2年）が、読書手帳に記入した本が1,000冊を達成し、市立図書館から表彰されました。山本さんは大の本好き。多いときは1日に5冊読むそうです。本が好きになったきっかけは「小さい頃からお母さんが寝る前に本を読んでくれた」から。「知らなかったことがわかるのが楽しい」と読書の魅力を話します。実は山本さん、1年生のときに英検2級を取得したほど英語が得意。「将来は医者さんになって、人の役に立ちたい」と夢を語ってくれました。読書手帳はすでに12冊目に突入していて、「2年生のうちに2,000冊達成したい」と笑顔を見せてくれました。



山本彩矢さん

性を磨き、表現力、創造力を高めることができます。そして、人生をより深く生きる力を身に付けることができるのだと思います」と話し、赤ちゃんの頃の読書習慣がもたらす、良い効果を教えてくれました。

**足を運ぶきっかけづくり**

図書館では、絵本との出会いの場となるおはなし会に、継続して足を運んでもらうため「おはなし会ポイントカード」を配布しています。また、読書に親しむきっかけづくりとして、これまで自分が読んだ本を記入することができる「読書手帳」も配布しています。

木村さんは笑顔でこう続けました。「読み聞かせは、義務感からではなく、楽しみながら読んであげてください。そうすれば、自分にとっても子どもにとっても、一日の中で幸せな、癒しの時間になると思います。その癒しの時間の絵本を、図書館で選んでいただけたらうれしいですね」。

■ 特集終わり ■